

第3章 教育研究組織

(1) 現状の説明

点検評価項目①：大学の理念・目的に照らして、学部・研究科、附属研究所、センターその他の組織の設置状況は適切であるか。

【評価の視点】

- 1：大学の理念・目的と学部(学科又は課程)構成及び大学院研究科(研究科又は専攻)構成との適合性
 2：大学の理念・目的と附置研究所・センター等の組織の適合性
 3：教員研究組織と学問の動向、社会的要請、大学を取巻く国際的環境等への配慮

(大総務 3-1 学校法人順天堂組織規則 別表第1 学校法人順天堂 組織機構図)

(大総務 3-2 令和元年度 事業報告書

- 「1. 法人の設置する学校」、「2. 医学部附属病院」、
 「3. 大学院附属研究センター及び大学附属研究センター」、
 「4. 法人の設置する大学院・大学の入学定員、学生数等」)

(大学基礎データ 表1)

- 1) 人材養成目的を達成するために、本学では、医学、スポーツ健康科学、看護学、理学療法学、診療放射線学及び国際教養学の分野に6学部と3大学院研究科を設置している。学部として、医学部(入学定員140名)、スポーツ健康科学部(同410名)、医療看護学部(同200名)、保健看護学部(同120名)、国際教養学部(同240名)、保健医療学部(同240名)を置き、大学院研究科として、医学研究科(同：修士課程30名、博士課程160名)、スポーツ健康科学研究科(同：博士前期課程61名、博士後期課程10名)、医療看護学研究科(同：博士前期課程20名、博士後期課程10名)を置いている。
- 2) 医学部では、政府の「新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定)」等を踏まえた増員計画を文部科学省に申請のうえ認可され、これまで段階的に入学定員の増員を行ったが、暫定的な増員(35名分)は2019(平成31)年度で終了となった。2020(令和2)年度については、政府の「経済財政運営と改革の基本方針2018(平成30年6月15日閣議決定)」を踏まえた地域の医師確保等の観点からの医学部入学定員の増加について、文部科学省に増員の申請を行い認可されたことから、医学部入学定員は135名となった。入学定員増に伴う医学部の入学定員数の推移は次のとおりである。

平成21年度定員 105名→110名	平成27年度定員 124名→127名
平成22年度定員 110名→119名	平成28年度定員 127名→130名
平成23年度定員 119名→120名	平成29年度定員 130名→137名
平成24年度定員 120名→121名	平成30年度定員 137名→140名
平成25年度定員 121名→124名	平成31/令和元年度定員 140名
平成26年度定員 124名	令和2年度定員 140名→135名

- 3) スポーツ健康科学部では、2021(令和3)年度から入学定員を410名から600名へ増員すべく、2020(令和2)年3月、収容定員に係る学則変更認可申請書を文部科学省へ提出した。また、2020(令和2)年4月、定員増と同時に行う学科再編(3学科から1学科6コース制)に伴う学科設置届出書も提出する予定である。
- 4) 浦安市日の出地区(約40,000㎡)に保有する校地を活用して社会のニーズに合った新学部

第3章 教育研究組織

学科設置や既存学部も含めた共同利用施設の設置について検討している。

- 5) 大学院医学研究科では、更なる研究力向上・研究基盤の強化を図り、卒前・卒後(大学院)一貫した教育プログラム構築を推進し、近年の入学数増加の実態に対応するため、2020(令和2)年度より、医科学専攻(修士課程)の入学定員を30名から40名に、医学専攻(博士課程)の入学定員を160名から180名に、それぞれ増員すべく文部科学省へ届出を行った。
- 6) 大学院医学研究科医科学専攻(修士課程)では、既存の医科学コース、公衆衛生学コースに続く第3のコースとして、遺伝カウンセリングコースを新設すべくカリキュラム策定を行った。本コースは、遺伝カウンセリングの実践に必要な専門的知識やカウンセリング理論と技法を体得し、遺伝医療を必要としている患者や家族に適切な遺伝情報や社会の支援体制などの情報を提供することにより、心理的・社会的サポートを通して当事者の自律的な意思決定を支援するゲノム医療に重要な役割を果たす人材を養成するものである。なお、本コースのカリキュラムは、日本人類遺伝学会及び日本遺伝カウンセリング学会から、認定遺伝カウンセラー制度による遺伝カウンセラー養成課程として2019(令和元)年11月12日付にて認定されており、2020(令和2)年度より実施(スタート)する。
- 7) 大学院医療看護学研究科では、教育研究組織の強化を図り、近年の入学数増加の実態に対応するため、2019(令和元)年度、博士前期課程の入学定員を15名から20名に、博士後期課程の入学定員を7名から10名に、それぞれ増員した。更に、博士前期課程において、2020年度(令和2)年度から入学定員を25名に増員すべく文部科学省へ届出を行った。
- 8) 各学部における教育研究組織は、教授会を中心に運営されている。教授会が教育研究に関する運営全般をマネジメントしており、下部組織として、教務委員会、カリキュラム委員会、カリキュラム評価委員会、教員人事委員会等、各種委員会を置いている。
 - (大医3-1 令和元年度 医学部委員会等委員一覧)
 - (大ス3-1 令和元年度 スポーツ健康科学部(さくらキャンパス)委員会等委員一覧)
 - (大医看3-1 令和元年度 医療看護学部(浦安キャンパス)委員会等委員一覧)
 - (大保看3-1 令和元年度 保健看護学部(三島キャンパス)委員会組織)
 - (大科教3-1 令和元年度 国際教養学部委員会一覧)
 - (大保医3-1 令和元年度 保健医療学部委員会一覧)
- 9) 大学院各研究科における教育研究組織は、研究科委員会を中心に運営されている。研究科委員会が教育研究に関する運営全般をマネジメントしており、医学研究科及びスポーツ健康科学研究科では、下部組織として、検討委員会、教員人事委員会等の各種委員会を置いている。医療看護学研究科では、適宜ワーキンググループ等を編成しながら、研究科委員会で教育研究に関する検討・審議を行っている。
 - (大医3-1 令和元年度 医学部委員会等委員一覧)
 - (大院ス3-1 令和元年度 スポーツ健康科学研究科委員会等委員一覧)
 - (大院看3-1 令和元年度 医療看護学研究科(浦安キャンパス)委員会委員一覧)
- 10) 研究分野横断的な共同研究を推進し、その成果を学部・大学院教育及び社会に還元するため、研究基盤センター、アトピー疾患研究センター、老人性疾患病態・治療研究センター、疾患モデル研究センター、環境医学研究所、感染制御科学研究センター、スポーツロジックセンター、先導的がん医療開発研究センター、ゲノム・再生医療センター、スポーツ健康医科学研究所、女性スポーツ研究センター、静岡災害医学研究センター、難病の診断と治療研究

第3章 教育研究組織

センター、革新的医療技術開発研究センターを設置している。

- 11) 医学に関する教育・研究の臨床の場であるとともに、またその成果に基づく社会貢献の実践の場として、医学部に6つの附属病院(合計病床数3,443床)を置いている。高度な最新医療を提供する都会型病院である本院機能を果たす順天堂医院及び高度な最新医療とともに地域医療に関する教育・研究を担当する静岡病院、浦安病院、順天堂越谷病院、順天堂東京江東高齢者医療センター、練馬病院で構成されている。卒前・卒後の学生や研修医等に対して、高度な最新医療から地域医療まで、更に精神医療及び高齢者医療を相互に連携・補完して学修することのできる教育研究病院として整備している。各附属病院の特色は次の通りである。
- 12) 順天堂医院(東京都文京区、1,051床)は、特定機能病院として高度な最新の医療を提供し、先進的医療の開発・実践を行うとともに教育研修病院として卒前・卒後教育の提供、更に研究機関として豊富な臨床研究を実施している。

(大総務3-3 順天堂医院 パンフレット)

- 13) 静岡病院(静岡県伊豆の国市、577床)は、静岡県東部におけるドクターヘリ基地病院、三次救命救急センター、新生児センター、総合周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院、アレルギー疾患医療拠点病院、災害拠点病院(静岡DMAT指定病院)、地域医療支援病院等の医療体制を整備している。これらの特色から救急医療・周産期医療・災害医療・地域医療に関する臨床教育・研究を担当している。

(大総務3-4 静岡病院 パンフレット)

- 14) 浦安病院(千葉県浦安市、785床)は、千葉県における三次救命救急センター、地域がん診療連携拠点病院、全県(複数圏域)対応型脳卒中・急性心筋梗塞連携拠点病院、エイズ治療拠点病院、災害拠点病院(DMAT指定医療機関)、地域周産期母子医療センター、特定不妊治療実施医療機関、難病医療協力病院(千葉県指定)、臨床研修指定病院などの診療体制の特色から、高度な医療を提供するとともに地域医療に関する臨床教育・研究を担当している。

(大総務3-5 浦安病院 パンフレット)

- 15) 順天堂越谷病院は、埼玉県による精神科救急医療事業及び埼玉県精神科病院協会による「埼精協こころの電話相談室」当番業務へ参加し、越谷市による精神保健福祉活動(精神保健相談事業、自殺対策協議会等)へ専門知識を有する精神科医を定期的に派遣している。精神科領域における災害派遣精神医療チーム(埼玉DPAT)活動のための協定も締結し、埼玉県による調整会議、研修会、合同訓練に教職員の参加協力を推進している。内科をコアとした一般診療科においては、地域医療、難病医療を担っており、専門医の派遣を行っている。近隣在住者向けに、うつ病、認知症を中心とした精神科・脳神経内科領域、膠原病・リウマチ、パーキンソン病、消化器疾患といった難病医療をテーマに、年3~4回、公開講座を開催している。また、精神医療関係者向けに年2回、埼玉東部精神医療フォーラムを開催するとともに、越谷市、春日部市、さいたま市等、自治体主催の市民公開講座にも協力している。

(大総務3-6 順天堂越谷病院 パンフレット)

- 16) 順天堂東京江東高齢者医療センター(東京都江東区、404床[一般275床、精神(認知症)129床])は、地域医療・高齢者医療への貢献を堅持しつつ、変化する医療ニーズに対応してきた。急性期医療は、勿論のこと、「認知症疾患の医療」、「救急医療」及び「リハビリテーション医療」に関わる診断・治療を実施している。医師事務作業員を入れ医師の業務の負担軽減に努め、区東部の医師会等と医療連携の強化を図りながら、患者さんのニーズを積極的に取り入

第3章 教育研究組織

れ高齢者医療の実施に努めた。3D内視鏡システムを導入し、患者の負担軽減と手術短縮を図るとともに、より解析度の高い3テスラMRI装置を更新し診療体制の充実を図り高齢者医療に関する教育・研究を積極的に行っている。

(大総務3-7 順天堂東京江東高齢者医療センター パンフレット)

17) 練馬病院(東京都練馬区、400床)は、練馬区の重点施策である救急、小児・周産期、がん医療を中心とした最先端医療を担う病院である。また、災害拠点病院(DMAT指定医療機関)としての機能を果たし、院内感染対策のモデルケースとしても整備されている。

(大総務3-8 練馬病院 パンフレット)

18) 医療看護学部及び保健看護学部での看護教育においては、主たる実習施設として附属病院群が機能している。各種実習が円滑に行われるよう、各附属病院の看護部長をはじめ看護スタッフが教員として参画して実習説明会及び実習指導者研修会を毎年開催し、学部と一体となった指導が行われている。実習委員長が6病院看護部長会に出席し実習施設と学部との連携を図っている。

19) 高い資質を持つ理学療法士・診療放射線技師を養成するため、附属病院と連携し1年次より臨床実習科目の設定や病院見学を実施している。また、理学療法学科においては、各種実習が円滑に進行するよう各附属病院実習担当者と実習説明会を開催するなど、学部と一体となった指導環境を整えている。診療放射線学科においても、3年次から開始となる実習に向け、同様の説明会実施を予定しており学部との連携強化を図っている。

20) 大学院医学研究科では、医学部附属病院群において、学生の研究目的に沿った臨床研究や、専門医等申請資格要件を満たすための臨床的な指導等が実施されている。

点検評価項目②：教育研究組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

【評価の視点】

1：適切な根拠(資料・情報)に基づく点検・評価

2：点検・評価結果に基づく改善・向上

1) 教育研究組織については、各学部・研究科における教授会・研究科委員会とその下部組織である各種委員会にて、定期的な検証を行い、その結果を基にそれぞれ改善・向上に向けた取り組みを行っており、適切性の確保に努めている。

(大総務3-9 各学部・研究科における教育研究組織の適切性の検証及び改善・向上に向けた取り組み)

2) 教授会・研究科委員会の審議結果を受け、大学協議会・大学院委員会にて、教育研究組織の新設・改編を含め、学則その他教育・研究に係る重要な規則の制定及び改廃に関する事項を協議している。

3) 自己点検・評価においては、法人組織の部門ごとに自己点検・評価委員会を置いており、定期的に組織の適切性について検証が行われ、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っている。

(大総務2-6 学校法人順天堂自己点検・評価に関する規程)

4) 教育研究組織の適切性・必要性の最終的な判断は、理事会にて行っている。2019(令和元)年度では、新学部新学科設置構想案、大学院医療看護学研究科博士前期課程の入学定員増、大

第3章 教育研究組織

学院医療看護学研究科クリティカルケア看護学の高度実践看護師（専門看護師（CNS）コース）の新設、大学院医学研究科博士課程・修士課程の入学定員増、医学部入学定員増、スポーツ健康科学部入学定員増及び学科再編、大学院医学研究科修士課程における遺伝カウンセリングコース設置について審議した。

（大総務3-9 各学部・研究科における教育研究組織の適切性の検証及び改善・向上に向けた取り組み）

（2）長所・特色

1) 本学は「健康総合大学・大学院大学」として、教育・研究・医療そしてリベラル・アーツを通じて国際レベルでの社会貢献と人材育成を進め、6学部3研究科6附属病院を運営するまでに発展してきた。

今後も、「健康総合大学・大学院大学」として、更なる充実を図るため、社会のニーズに応じた新たな学部・大学院における新コース設置等の検討を進め、本学の使命を果たしていきたい。

2) 大学院医学研究科医学専攻（博士課程）・医科学専攻（修士課程）は、研究基盤の強化を図りつつ、入学者数増加の実態に応じて定員増を図ってきた。2020（令和2）年度より、医科学専攻（修士課程）の入学定員を30名から40名に、医学専攻（博士課程）の入学定員を160名から180名に、それぞれ増員する。

今後も、教育研究組織のより一層の強化を図り、入学者数増加の実態に応じるため、医学専攻（博士課程）・医科学専攻（修士課程）ともに更なる定員増について検討したい。

3) 大学院医学研究科医科学専攻（修士課程）に、2020（令和2）年度より認定遺伝カウンセラー養成課程として遺伝カウンセリングコースを新設し、3コース編成となる。

今後は、AIやデータサイエンス、ヘルスコミュニケーションに関する授業科目を充実させ、更なるコース追加を検討したい。

4) 大学院医療看護学研究科では、2019（令和元）年度、博士前期課程の入学定員を15名から20名に、博士後期課程の入学定員を7名から10名に、それぞれ増員を行う等、開設以降安定して発展を続けている。

2020（令和2）年度には博士前期課程入学定員の25名への更なる増員を予定をしており、今後も、教育研究組織のより一層の強化を図っていく。

（3）問題点

なし

（4）全体まとめ

大学をとりまく環境変化や社会的要請に応じ、理念・人材養成目的を踏まえ、学部・研究科の設置や入学定員増等を行うとともに、新学部学科の開設を準備している。既存の組織についても、大学運営連絡協議会、大学協議会、大学院委員会、教授会、研究科委員会、自己点検・評価等により定期的に検証を行っており、本学の理念・目的を実現するための教育研究組織が整備されている。

第3章 教育研究組織

(5) 根拠資料

資料No.	各部署の資料整理No.	資料名称
1	大総務3-1	学校法人順天堂組織規則
2	大総務3-2	令和元年度 事業報告書
3	大医3-1	令和元年度 医学部委員会等委員一覧
4	大ス3-1	令和元年度 スポーツ健康科学部(さくらキャンパス)委員会等委員一覧
5	大医看3-1	令和元年度 医療看護学部(浦安キャンパス)委員会等委員一覧
6	大保看3-1	令和元年度 保健看護学部(三島キャンパス)委員会組織
7	大国教3-1	令和元年度 国際教養学部委員会一覧
8	大保医3-1	令和元年度 保健医療学部委員会一覧
9	大院ス3-1	令和元年度 スポーツ健康科学研究科委員会等委員一覧
10	大院看3-1	令和元年度 医療看護学研究科(浦安キャンパス)委員会委員一覧
11	大総務3-3	順天堂医院 パンフレット
12	大総務3-4	静岡病院 パンフレット
13	大総務3-5	浦安病院 パンフレット
14	大総務3-6	順天堂越谷病院 パンフレット
15	大総務3-7	順天堂東京江東高齢者医療センター パンフレット
16	大総務3-8	練馬病院 パンフレット
17	大総務3-9	各学部・研究科における教育研究組織の適切性の検証及び改善・向上に向けた取り組み
18	大総務2-6	学校法人順天堂自己点検・評価に関する規程